

第2回

放送ネットワークの強靱化に関する検討会



平成25年3月28日

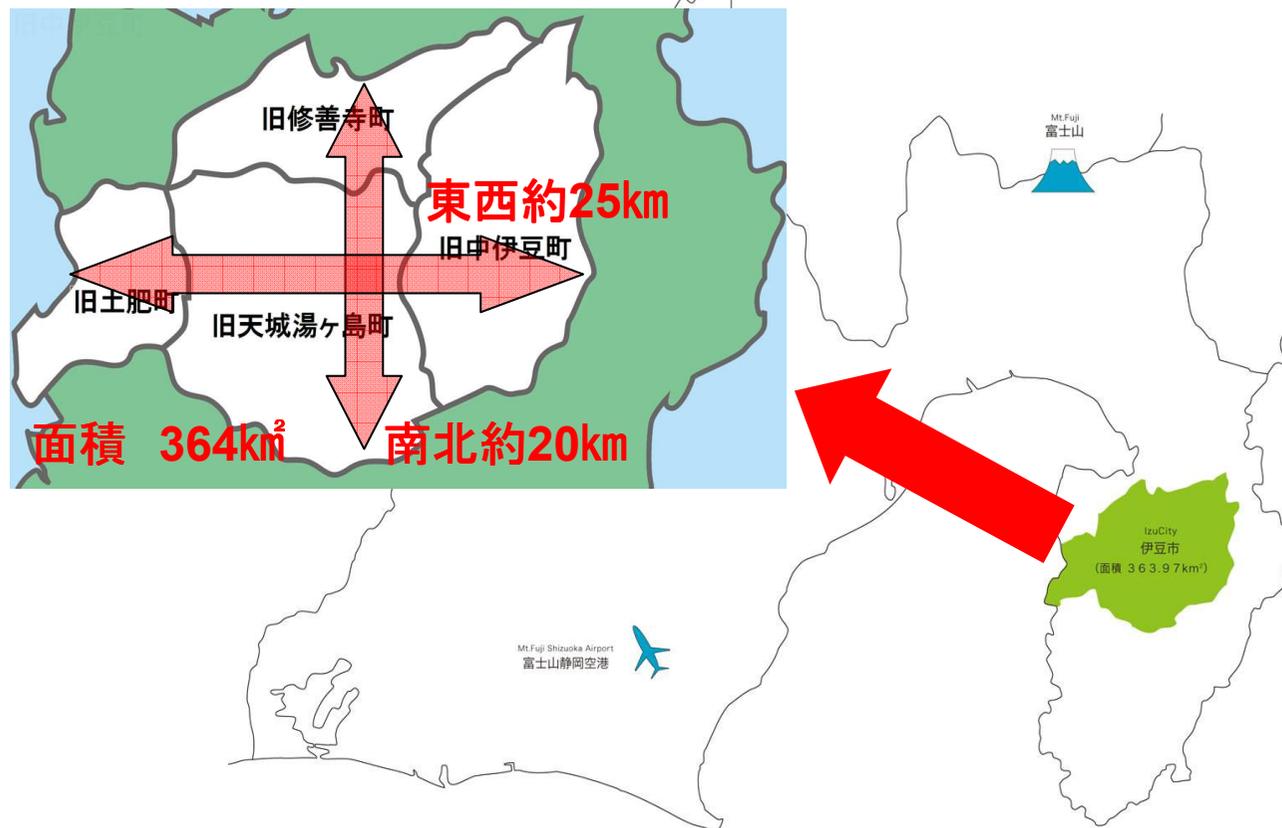
静岡県 伊豆市長 菊地 豊

1 災害情報を始めとする地域情報の提供における課題

(1) 伊豆市の地形特性

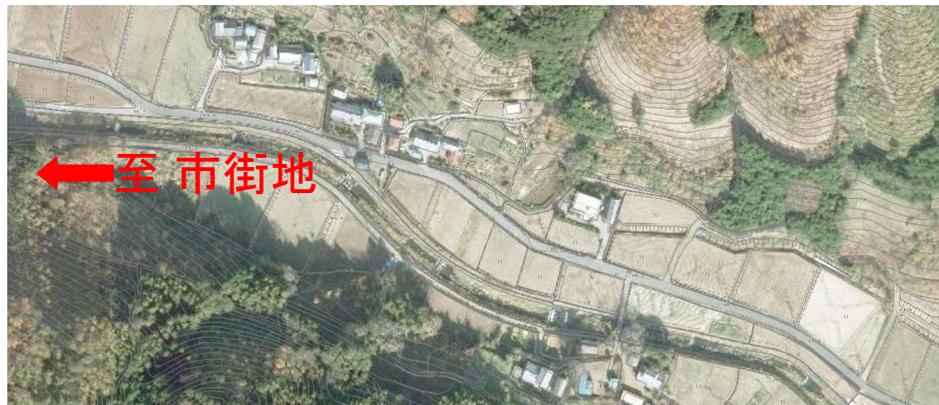
⇒ 電波が届きにくい

a) 地デジで最も苦労した地域のひとつ



C). 孤立した集落が多い

【大沢地区】



(2) 高齢化率

⇒ ネットを使わない

a) 高齢化率 60%の地区

【米崎地区】



b) 高齢化率 80%の地区

【平石地区】



(3) 光ファイバー未整備

⇒ ケーブルテレビがない

2 地域住民にとってのラジオの必要性

(1) 産業の特性

⇒ ネットやテレビは使えない

a) 土肥の漁業



b) わさび生産

【筏場地区】



c) しいたけ生産



d) 観光

【国道414号】



【国道136号】



(2) ラジオとの連携

VOICE・CUE(ボイスキュー FMみしま・かなみ)
と災害時の協定締結済み

(3) 他のメディアとの役割分担

a) NHK等全国放送

観光客への情報提供

b) 同報無線

ほとんど聞こえない(大雨の多い気象、山の反響)

c) かつては有線放送(農協の運営)

確実に地域情報を伝える唯一の手段だった

3 自治体と放送事業者

(1) 内容の選択権

人口が少ない伊豆市の情報を放送事業者は扱わない

⇒コミュニティFMの必要性

(2) 多様な放送ネットワークの必要性

a) 「どれかは聞こえる」が必要最低限

b) 地域情報と広報情報のいずれも必要